THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF
OSAKA NAKANOSHIMA
Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES（2017-2018）
国際会長主題 ："Let Us Walk in the Light - Together"「ともに、光の中に歩もう」
アジア会長主題："Respect Y's Movement"「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事主題："Healthy mind & healthy body make healthy club"「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
中西部部長主題：「未来には希望がある」"Hope for the Future"
クラブ会長主題：「クラブのみんなと共に輝こう！」

Monthly Bulletin
第 251 号
2017 年 12 月

聖書のことば

しかし 、ただひとつの日が来る。その日は、主にのみ知られている。そのときは昼もなければ、夜もなく夕べになっても光がある。

（ゼカリア書 14 章 7 節）

選者　今井　利子

12 月第１例会プログラム

大阪センテニアル・なかのしま合同クリスマス例会

日時：2017 年 12 月 13 日（水）18：30～20：30
場所：イタリアンレストラン "カ クチーナ ケ インカント"
（阪神香櫨園駅下車西へ徒歩２分）

司会　松浦　孝次

1. 開会点鐘　吉岡香代子会長
2. ワイズソング
3. 聖句朗読　今井 利子
4. ゲスト・ビジター紹介　両クラブ会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝（「日々の糧を」）＆食事
7. 楽しい演奏　*テナー：角地 正直さん*
   ソプロノ：中井 翔子さん
   ピアノ：南　なほきさん
8. お誕生祝い
9. ニコニコ献金　ドライバー
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘　三浦　直之会長

例会当番（B）　受付当番（A）

11　月　統　計

第１例会出席者数	例会出席率	B F 統 計
メンバー　17 名	出席者　17 名	日本　２３０ｇ　累計　2,510ｇ
ビジター　７名	メイキャップ　１名	外国　０ｇ　累計　1,285ｇ
ゲスト　２名	合　計　18 名	現金　円　累計　円
コメット　１名	在籍者　20 名	提供者：今井、江見、 國友、 杉浦
合　計　27 名	出席率　90 ％	武井、藤井、藤好、保田、吉田

11 月例会報告

「杉原千畝とユダヤ人たち」
～その後のユダヤ人たち～

武井　和子

もう冬を感じるような 11 月８日の夕暮時に、楽しみにしている第１例会に出席するため娘とホテルグランビア大阪へ。受付当番をしながら、例会の準備をして、卓話者の笠井恵二先生と大勢のゲストをお迎えし、吉岡会長の開会点鐘でスタートです。

わたしがこころ待ちにしていた卓話「杉原千畝とユダヤ人たち」のはじまりです。先日テレビで杉原千畝の出身地岐阜県加茂郡八百津町の資料館に海外からの観光客（特にイスラエルから）が大勢訪れている様子が映されていました。笠井先生が「八百津町の町長は商才に長けている」と、笑いを取られました。

杉原氏は 1939 年にリトアニア領事代理になり、その頃からユダヤ人難民が領事館に集まりだし、ユダヤ人難民にビザ発行をはじめたが、日本本国からはビザ発行をやめるように再々忠告があったとのこと。しかし彼は政府の忠告に耳を傾けず 6000 人のユダヤ人の命を救ったとのことでした。わたしはここまでの過程は知っていましたが、その後のユダヤの人々の放浪の旅についてのことは全く知りませんでした。ポーランド～カウナス～モスクワ～ウラジオストック～敦賀～神戸～横浜～アメリカ・カナダ・オーストラリア・イスラエル・南米へとユダヤの人々は世界中に亡命したとのこと。旅の途中で日本に滞在したことなどもわたしは知りませんでした。

【次頁に続く】

特にウラジオストックと敦賀を二十数回汽船で往復し、乗船した人々からユダヤ難民を探し、アメリカのユダヤ難民救済協会からの支援金を渡した大迫辰雄氏の偉大な功績や、日本郵船が日本発のユダヤ人の太平洋の船旅に協力した事、神戸ユダヤ人教会の救いの手、難民ビザ延長のために尽力した小辻節三氏、ヒトラーの脅迫にも負けず日本から無事出国させた善意の日本人、そして陰で支援したのが東條英樹と聴き驚きました。そして歴史には深い深い謎と奇跡があると感じました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

土佐堀カーニバルあれこれ

藤好　基子

11 月３日（金・祝）土佐堀カーニバルが大阪 YMCA 土佐堀会館で開催されました。大阪なかのしまクラブは恒例のバザーをひらきました。１０月１８日、第２例会前にバザーに出すものの整理に集まり、献品して頂いた品々を分類し、値付けをいたしました。適正な値段をつけるのは難しく感じましたが、わいわいとお喋りしながらの作業は楽しく進みました。

当日はお天気もよく、各階は朝から熱気にあふれていました。藤井さんの指揮のもと、受付、食器＆飲物販売売場に数人は時間を決めてスタートしました。私は受付でのチケット販売をしました。子どもは「わぁ～い！缶バッジだ！」と喜んで笑顔になって新しいロゴになった YMCA の缶バッジを胸に入っていく姿は微笑ましいものでした。次々に入所者が訪れ長い列ができ吉岡さんと私はてんてこ舞い状態になり、見かねて急遽 YMCA の職員さんや土佐堀クラブのメンがヘルプに入って下さるほどの盛況に嬉しい悲鳴でした。

入場料は大人 100 円、子ども 50 円（3 歳以下は無料）を、千円札はまだ良いのですが、1 万円札で支払う方には少々ビックリ！又「子どもが出演しても入場料が要るの？後で払うわ！」と言って入ってしまった親御さんにもビックリ！でも、抱っこしている幼児の分まで払って「ごくろうさまです」とおっしゃって下さった親御さんもいらしたのには喜びを感じました。様々な方にたくさんの勉強をさせて頂いたカーニバルでした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

こんな部会に参加しました！

瀬戸山陰部会（10 月 14 日）

吉田　由美

瀬戸山陰部会が開催された YMCA 米子医療福祉専門学校は、中国山陰地域の理学療法士、作業療法士、介護福祉士の育成を目的に 1994 年開校し、地域医療の現場へ沢山の卒業生を送り出している学校です。瀬戸山陰部長の福永ワイズは広島 YMCA 職員の時代からこの学校の設立に関わってこられました。

階段教室で開催された、第 16 回瀬戸山陰部会及び米子クラブ設立 20 周年記念式典は、参加者数も 70 名ほどの小規模な部会であったにも関わらず、今期メネット事業としてではなくワイズ全体で行動を起そうとしている『子供の貧困や虐待について学ぶ』をテーマとした中身の濃い部会となりました。記念講演の講師は、米子市要保護児童対策地域協議会会長の安田寿朗弁護士です。

貧困とは社会意識により変化するもので、かつて社会全体が貧しかった時代の“物が無い”絶対的貧困と、社会として許容すべきでない、それ以下では有るべきではない生活水準の相対的貧困があげられ、貧困と格差は同じではありません。日本の子供の貧困率は 2015 年の統計で 13.9%（7 人に 1 人）と発表されていますが、特定の世帯（1 人親家庭）では 50.8%と突出しています。貧困のもたらす子供達への弊害は、学力の低下や基本的生活態度が出来ない、健康が維持できない（未治療の虫歯が多くあるなど）、また、結果による虐待、休める場所の無い疎外感、非行につながる事などがあげられます。

子供食堂などは食事を与える場だけでなく、文化や安らぎを与える場として実行していく。子供の貧困対策の推進に関する法律の整備や、自治体の施策への後押しなど、政治に対する働きかけが必要である事も学びました。

今期のメネット事業主任、中道京子ワイズが繰り広げている子供の貧困に対する支援が、ワイズ全体での事業になる事を願い、私達に出来る事は何かを考える時間となりました。

びわこ部会（11 月５日）

桑原　頼子

11 月５日（日）「SL 北びわこ号＆バスで錦秋の湖北路巡り」のキャッチコピーに誘われて参加。あ、それだけでなく「松茸＆近江牛のすき焼き」「オールディーズバンドの生演奏」にも誘われて。

朝、米原から SL に乗って木ノ本へ。沿道には SL ファンのカメラがいっぱい並び、大人も子どもも大勢が手を振っているテレビで見る光景です。ワイズメンズクラブの幟を立てた歓迎も受けました。車内から手を振りますが、当然 SL が走っている姿は見えず、汽笛・煙・煤・匂いはしっかり味わいました。

木ノ本からバスで紅葉の名所鶏足寺へ。紅葉の時季には少々早すぎましたが真っ赤、黄味をおびたの、緑と色とりどり。風が清々しく、参道には猿たちが出迎えていました。無人売店の唐辛子の赤がとても綺麗でした。

部会会場は、森の中のキャンプ場「ウッディパル余呉」。案内には、会場は暖房がありません、暖かくカジュアルな服装で

【次頁に続く】

ブリテン 20 年[6]

桑原　頼子

コラムを書くにあたって、準備号から 2017 年６月号までをパラパラと見ました。記念誌もパラパラと。ほんとに詰まっています。詰めています。いかに書き手がしっかりと書かれたかが良く分かります。

プログラムも多彩で、ゲスト・ビジターの目を引きます。１面に掲載する意味も分かります。やっと〝なんたるや〟が分かったのかといわれそうです。１年間の行事は大会や部会と決まったことがありますが、各月の例会やイベントにはなかのしまクラブ独自の工夫が見られ楽しく想い出されます。

各会長を主として、事業計画への経過や参加報告などが掲載されていることを読み、メンバー皆が共通理解をし、参加することの喜びを文章に表し、確認し合い、記録として残されます。20 年の歳月は容赦なく変化を見せますが、それでもワイズメンとして変わらずにクラブとしての責任を、また期待をされているのも分かります。こういうことがブリテンの役目として果たされていることを実感しました。

記念誌を見ると、なかのしまの誇らしい受賞の数々に西日本区大会の様子が目に浮かびます。受賞対象になるからだけではなく、きっちりと 100%の献金をする姿勢が表れています。これはブリテンにはない記念誌としての推移です。

５年目の記念誌は、写真にその時々の状況が良く分かるように、エピソードを盛り込みました。見る記念誌ではなく、読む記念誌にしたかったのです。10 年目も続編として同様にしましたが、メンバーの顔写真掲載は反対されました（笑）。15 年目は東日本大震災があり、今までのような記念誌ではなくブリテン増ページ号の体裁にしました。20 年目は集大成であり、なかのしまメンバー20 年の推移として在籍者全員を掲載しました。多くの仲間があったことを嬉しく思います。最後に、なかのしまブリテンファンに感謝を込めて。

「YMCA は私」　No6

山佐　亜津子

アジアとの出会い、そしてアジアとの出会いを通しての、日本人としての自分との出会い。これは私がＹＭＣＡを通して出会った人やものの中で、神様の次に大きなものかも知れません。大阪ＹＭＣＡでは国際専門学校の学生時代から、英語を学びながらも目を向けさせられたのは欧米だけではなくアジアでした。

初めてアジアを訪れたのは入職数年後の 1992 年で、アジアスタディツアーに参加し、ミャンマー、バンコク、シンガポールの各ＹＭＣＡを大阪ＹＭＣＡの会員さんたちと共に訪問しました。後になかのしまワイズが支援を始めたマンダレーＹＭＣＡは、当時はまだ自前の施設は持っておらず、教会の会堂を借りて教育活動をしたり、貧しい村に出向いて家庭や地域のための活動をしていました。それら各地の社会状況や人の生活の厳しさと、そこに働きかける現地ＹＭＣＡ、複雑な政治と社会の下で難しい生活を強いられているにも関わらず、屈託のない人懐っこい笑顔の現地の人たちは、とても印象深いものでした。「生きる」という意味が、平和な時代の日本に生まれ育った私たちとは異なり、「生きていけない」という言葉は、文字通りに命を取られることを意味する世界に生きる人たちとの出会いでした。

それから後、2000 年頃から日本語学校の業務で中国、台湾、韓国や東南アジア諸国など、近隣であり、何より歴史的に日本が忘れてはならない関係にあり、また現在では文化的・経済的・人的などあらゆる領域において関係の深いアジアを駆け巡るようになります。また日本を訪れる多くのアジアの仕事仲間や、留学生たちとの深い付き合いがありました。温かく強い絆もあれば、激しい衝突も少なくありませんでしたが、どの絆も経験も、私という人間を、私自身に自覚させてくれるかけがえのないものでした。

と書かれていた通り、木組みの大屋根の出入り口はテントで囲われ、足元は土。240 名ほどの参加者でぎっしり詰まっています。

オープニングの時は風が通って寒い中、羽衣伝説のパフォーマンスと葦笛の爽やかな音色は気持ちのいいものでした。式典は粛々と進み、懇親会に入ると熱気が会場を包み、寒さを忘れました。大きな松茸と近江牛「いい匂い」「おいしい～」と、あちこちで言葉が交わされ、すき焼きを堪能しました。

オールディーズバンドはワイズメンもバンドメンバー。我々世代は乗りますね～楽しめますね～。舞台の前ではダンスを楽しむ人々、大いに盛り上がりました。極めつけは、近江牛が当たる抽選会。いの一番、藤井さんに当たり！

最後は全員輪になり、琵琶湖周航の歌を歌ってお開きに。帰り道にやっと余呉湖を眺め、とても楽しい一日を終えました。

10 月第２例会報告抄

日時：2017 年 11 月 15 日（水）18：30～20：30
場所：大阪ＹＭＣＡ　504 号室
出席者：12 名

1. 今年度後半期のプログラムについて、プログラム委員より説明を受けた。
2. 「土佐堀クリスマス」の運営協賛金 1 万円をニコニコ会計から支出することとした。
3. チャリティーラン、土佐堀カーニバルについて簡単な評価・反省を話し合った。
4. 次期中西部主査として杉浦眞喜子さん（Y サユース事業主任を希望）を推薦したとの報告が会長よりあった。

◇12 月お誕生日の方◇　*Happy Birthday*

藤好　基子　11 日　　大岸　弘子　13 日
山佐亜津子　13 日　　藤井　弥生　28 日

ニコニコ献金　11 月　24,280 円

〈ニコニコメッセージ〉―　11 月例会　―

☆ 初めてなかのしまクラブの例会に参加させていただきました。素敵な雰囲気で一気にファンになりました。
（大阪YMCA：林　貴子）

☆ 芦屋クラブの２０周年祝会に多くの方が登録くださいましてありがとうございます。いいお話が聞けてよかったです。　（芦屋クラブ：西日本区会計　桑野友子）

☆ なかのしまの楽しい例会に参加させていただきありがとうございました。
（大阪センテニアルクラブ：中西部部長　大村　肇）

☆ 久しぶりのなかのしまクラブ、楽しいひとときありがとうございました。　（大阪土佐堀クラブ：工藤義正）

☆ 本日はありがとうございました。
（大阪西クラブ：湯浅禎也）

☆ 久しぶりになかのしまの例会に出席させていただき、笠井先生のお話を聞かせていただき感謝です。
（大阪センテニアルクラブ：谷川　寛）

☆ 秋も深まり、木々の紅葉が美しいですね。なかのしまクラブの華やかさと競っているようです。
（大阪センテニアルクラブ：三浦直之）

☆ いつもながらたくさんのゲストにかこまれて、にぎやかに展開される”なかのしま”敬意を表します。
（大阪センテニアルクラブ：山田孝彦）

☆ 11月は沢山の行事があり、とても疲れています。皆様も風邪などひかれないように体調管理には十分お気をつけ下さい。　（生雲）

☆ 日本人の日本人らしいやさしさ、強さの行為の千畝さんの話をたくさんの方が聞きに来てくれて嬉しい例会になりました。今年も１１月、クリスマス近く、楽しい日々を夢みつつ・・・。　（今井）

☆ 杉原千畝氏の崇高な働きがロシア正教会の信仰があったときききました。お誕生日が1月1日、わたしも元旦。なんだか嬉しかったです。　（江見）

☆ 戦前、戦中、戦後の深い歴史から忘れてはならない人間の”大切なもの”を学び、教えられました。貴重なお話をありがとうございました。　（大岸）

☆ 今月は初めての司会で上手くいくか心配の例会でした。歴史のお話は知らないことを知ることができ本当に勉強になります。　（大橋）

☆ 杉原さんサイドのお話をお聞きするチャンスは何度かあったので、私はヴィザをもらって難を逃れた人々の後日のエピソードや、今日のパレスチナ紛争にいたるお話もぜひ聴きたかったです。　（國友）

☆ ボールペンの端に付いているゴム。鉛筆の字じゃなくても消せるのだと初めて知りました。　（桑原）

☆ ２，３日前、いつもジャムを買ってくださる方から電話があり「しばらくジャムがないけど・・・お元気ですか？」と。待ってくださる方があることはうれしいです。明日、リンゴジャム作りをします。　（杉浦）

☆ 今日も健康を与えられ例会に参加できました。寒い時季に向かいます。皆様、お風邪を引かないように、ガンバレ！！
（瀬島）

☆ アトリエゆうハウスの保護者会の親睦会を兼ねてケーキを焼くことになり、私が先生に！うまく焼けるか、少々不安になります。10月、11月はケーキ作りに追われています。　（武井和子）

☆ 土佐堀カーニバル、とてもおもしろかったです。
（武井美帆）

☆ あっという間に11月、残りがわずかになりました。毎年、年を重ねるごとに１年が短く感じます。　（鳥居）

☆ 温かかったり寒かったり、と　思っているうちに公園の緑がいつの間にか、いい色に紅葉していました。　（藤井）

☆ 1泊2日で上京しました。高齢の従兄妹夫妻、大好きな乳兄弟夫妻、親友、そして高校生の時からのキャンプ＆リーダー仲間にも会えました。一人旅は時間をフルに使い、上野で「古代アンデス文明展」、銀座で伊東屋も。楽しい旅でした。　（藤好）

☆ 興味深いお話を聴かせて頂いてありがとうございました。
（松下）

☆ 先月はとっても残念でした。骨折はまだ直らずクスリがきれるととてもいたいのですが、今月はなんとしてもと頑張ってきました。早く治れ～～～　（保田）

☆ 紅葉の季節にはまだ少し早いようです。樹木が色付くと寒くなりますね。風邪引きには気を付けよう。　（吉岡）

☆ 笠井恵二先生を皆様に紹介できて良かった。　杉原千畝は歴史上の人物ではなく、奉仕に生きた身近な存在であったことが良く理解できました。　（吉田）

YMCA ニュース

★ 第296回 早天祈祷会
日時…2017年12月15日(金)7:30～8:30
奨励…金　安弘さん（在日大韓基督教会　牧師）
場所…大阪ＹＭＣＡ会館　10階チャペル

★ 土佐堀YMCAクリスマスチャリティコンサート
日時…2017年12月8日(金)18:30～
場所…大阪YMCA会館10階チャペル
出演…子どもたちの演奏を交えての楽しいコンサート
マリンバ演奏　中西京子
入場料…1000円(1ドリンク付)
お問い合わせ…06-6459-1777
(大阪 YMCA ランゲージセンター: 高木)

12 月になり中之島や御堂筋が綺麗にライトアップされました。年末の忙しい中、イルミネーションを見て癒されるもいいですね。　大橋　昌美

編　集　後　記

今年も残り少なくなってきました。　1日を思い出深いものとして、過ごしていかなくてはと思っています。ワイズメンズクラブの方々ありがとうございました。来年もどうぞよろしく！